

ひろしま神楽 定期公演

2025

12月10日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(1)会場内での飲食は禁止とさせていただきます。

(2)上演中の立ち歩きや大声での私語など他のお客様のご迷惑になる行為はご遠慮下さい。

(3)お子様が舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方

は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。

(4)客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

※ビデオカメラなどを使用しての動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用しての撮影は禁止

どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

山根神楽団【安芸高田市】

山根神楽団の歴史は大変古くその始まりは寛政2年10月、233年前に遡ります。

高宮町山根地区の住民数人が隣村の阿須那村の加茂神社神官 齋藤氏に習いに出向き持ち帰ったとされています。戦前は大変隆盛を誇り年間60回程度近隣の神社の祭りへ大八車に衣裳等一式を積み夜を徹して舞い歩くこともしばしばあったようです。

高宮町内ではいち早く演目「剣舞」が昭和29年4月に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。「競演大会で優劣を競うよりも祭りの奉納神楽」という姿勢をかたくなに守り続け昔からの山根神楽の伝統ある芸に磨きをかけ「古い神楽の伝承」という目標の基に日々精進しています。



八岐大蛇

やまたのおろち

高天原を追われた須佐之男命は、出雲の国で嘆き悲しむ老夫婦と娘に出会いました。

理由を尋ねると、頭が八つ尾が八つの八岐大蛇に年々娘を呑み取られ、次はこの櫛稻田姫まで呑み取られる時が来たということでした。

そこで須佐之男命は姫を嫁に貰う代わりに八岐大蛇を退治する約束をし、老夫婦に毒酒を用意させます。大蛇に酒を呑ませ、酔ったところを大格闘の末退治した命は、大蛇の尾から出てきた一振りの剣を「天叢雲剣」と名付けて天照大神に捧げ、姫と結ばれるという物語です。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用しての動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用しての撮影
- 撮影された画像・動画の営利目的での使用および2分以上の公開



#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！

ひろしま神楽の魅力を
発信してください!!

大	太	鼓	一	上	戸	康	彦
小	太	鼓	一	安	浩	充	
鉦				袖	智	行	
笛			一	下	成	志	

須	佐	之	男	命	一	中	岡	範	之
足	名	椎	一	安	浩	充		信	
手	名	椎	一	松	智	行			
櫛	稻	田	姫	下	下	智			
大				宮	行				
大				本					
大				康					
大				平					
大				安					
大				野					
大				村					
大				北					
大				村					
大				児					
大				玉					
大				平					
大				松					
大				太					
大				鷲					
大				笙					
大				真					

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成:一般財団法人地域創造



その半券
捨てないで!!!
お得な
特典!

「ひろしま神楽定期公演」の半券を
神楽門前湯治村に持っていくと
「ひろしま神楽定期公演」に持っていくと

入浴施設・岩戸屋の
入浴料¥100割引
※他の割引券は併用できません。※2025年12月24日まで有効

当日券入場料
¥100-割引
※2025年12月24日まで有効

アンケートにご協力ください!

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力よろしくお願いいたします。



こちらから
ご回答ください